

# 光風緑 Hannan

2011年 11月

日本医療機能評価機構認定病院  
〒599-8263 大阪府堺市中区八田南之町277番地 電(072)278-0381 内(072)277-2261 URL http://www.hannan.or.jp

理念 愛の心で医療に奉仕を 和の心で総力一致を 励む心で創意工夫を



## 創立55周年記念

今年当院は55年目の創立記念を迎えました。当院では、昨年の新棟竣工以来、認知症治療病棟、児童精神科病棟、3単位目の精神科救急病棟、メンタルケア病棟全個室化と、地域社会に求められる機能を充実させるべく病棟の転換および整備を行ってまいりました。

これらの院内整備に際しましては、病医院の先生方はじめ、地域の皆様の温かなご指導とご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、院内でも創立記念を祝う式典を10月8日(土)行いました。当院の基礎を作ったこと、OBもお招きし、半日かけての記念式典およびイベント、懇親会は大いに盛り上がりしました。

記念式典では理事長、院長の挨拶に続き、永年勤続表彰と続きます。毎年の行事ではありますが、改めて気持ちの引き締まる記念日となりました。

### 基本方針

**人** 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

**最** 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

**光** と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

**地** 域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

**信** 頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内

花  
だ  
よ  
り

花の少ない時期ですが、木々が色付きはじめています。どうぞ足を止めてご覧下さい。

# 光風緑

こうよう

## 紅葉



【分類】バラ科サクラ属の落葉高木。

【花の特徴】春にはピンクや白の花が満開に咲く、日本の名花。

【花期】9～10月

桜の見ごろはもちろん、春ですが、11月に入る空気がひんやりする季節には、葉が赤く色づきます。一般的に黄葉が色づき始めるのに、最低気温8℃以下(広葉樹)が必要。さらに5℃以下になると一気に紅葉が進むといわれます。美しい紅葉の条件には「昼夜の気温の差が大きい」「平地より斜面」「空気が汚れていない」「適度な水分」など光合成が行いやすい条件が必要です。院内敷地周辺の桜葉も色づき始めました。短い間ですが、お楽しみください。

### 外来診察表

外来診察時間 / 9:00 ~ 12:00(受付は11:30まで)

	月	火	水	木	金	土	
診 察	1 診	黒田	柏木	中井	横田	黒田	横田
	2 診	松島	野村	松島	野村	横井	横井
	3 診	西側	澤田	植田	澤田	西側	植田
	4 診	福田	子安	正路	橋元	西岡	
	5 診	佐野	影山	川村	宮里	秋田	
	6 診	呉家	和田貴	吉田綾	吉田綾	土井	呉家
	7 診	村上智	村上智	小深田	和田大	作田	小深田
	8 診	西村	山田	西村	河野い	相馬	和田大
心 1	熊取谷	河野隆	作田	三秋	岩田	熊取谷	
心 2	宋	植月	荒川	清水喜	宋	植月	

ご紹介いただく際は予めご連絡をお願いいたします

専門外来(睡眠・小児・往診・女性・口腔)は予約制です

医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。

受診の前に下記へお電話ください。

電072-278-0381 内072-281-6615



### 診療科目

精神科 / 心療内科 / 児童精神科 / 内科 / 小児科 / 歯科

### 病床数

EPU 精神科救急 病棟 168床(C1,H2,H3病棟)  
 児童精神科病棟 25床(D1病棟)  
 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)  
 メンタルケア病棟 51床(E2病棟)  
 メンタルケア病棟 35床(E3病棟)  
 リカバリmix病棟 60床(D2病棟)  
 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)  
 MPU 精神科合併症治療 病棟 51床(H1病棟)  
 リハビリ 精神療養 病棟 60床(F2病棟)  
 認知症治療病棟 60床(F3病棟) 計690床

### 看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 スーパー救急 10:1  
 看護師比率70%以上・看護補助 30:1

### 関連施設ご紹介

認知症疾患医療センター  
 訪問看護ステーションふれあい  
 居宅介護支援事業所  
 ヘルパーステーションはんず  
 ケアホーム / こもれび・青空・そよかぜ  
 堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電072-278-0381  
 ケアホームあんずの郷  
 堺市中区八田北町309 電072-278-2233  
 地域生活支援センターゆい  
 堺市中区深井東町3134 電072-277-9555



当院は敷地内完全禁煙です



編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

## いずみがおか地区 安全なまちづくりフェスティバル

10月15・16日の2日間、泉ヶ丘で行われた「いずみがおか地区安全なまちづくりフェスティバル」に参加しました。これは、防犯意識を高め、まちづくりに役立てるという趣旨のもと、警察や自衛隊、地元の幼稚園や高校、大学がイベントを開催、子どもを中心に大勢が集まるまちぐるみの大きなイベントです。当院もメインの噴水広場の一角にブースを出し、こころの健康相談や、パンフレット、グッズの配布など病院のアピールをしました。1日目には、舞台上がり「認知症の人の気持ちに響く、理解ある介護」と題した寸劇を披露、認知症の方との関わり方を楽しく理解していただきました。

15日(土)はあいにくの雨空で、午後からの集客が伸び悩みましたが、16日(日)は朝から晴天、気温も上がり秋の高い空の下、朝は茶山台幼稚園の園児150名による演技YOSAKOIソーランからのスタートでした。午後からは少し人が減ったものの、南区のキャラクターみみちゃんの登場や風船の配布、ゴスペルや大阪府警吹奏楽団の演奏・演技など夕方まで盛況の1日でした。

泉北ニュータウンをもつ南区は高齢化や旧村の過疎化が深刻で、どの地域でも地元の活性化を目指した取り組みがいろいろ行われています。子どもが楽しめる大規模なイベントを行うことは地域にも重要であり、ここに当院がブースを出し、イベント参加させていただいたことには大きな意味があるといえます。2日間でお会いできた方々に感謝です。当院も初めて参加させていただき貴重な体験でした。



## 復職支援プログラム

株式会社ジャパンEAPシステムズ副社長 松本 桂樹 先生



10月21日(金)15時から多目的ホールにおいて「職場復帰支援に必要な情報」と題した講演会が開催されました。当院でもメンタルケアのプログラムのひとつとして、リワークの実践を進めており、実際に労働者のメンタルヘルス対策など展開されている松本先生に復職支援の現況や、いかにリワークを進めるかなど事例を交えてご講演いただきました。

現在、うつや心の病を原因として休職する人は増えています。その人たちを支援し、職場復帰できるように支援するプログラムにリワークがありますが、休職とは所属会社の制度であり、会社によって休職期間や、復帰の条件などさまざまである

ため、その制度に即した個人ごとの支援が必要です。また、職場復帰の判断基準として、「本人が復帰に対し十分な意欲を示している」「通勤時間帯に安全に通勤できる」「会社の勤務日に継続して就労できる」「業務に必要な作業をこなすことができる」「疲労が翌日までに回復している」「睡眠覚醒リズムが整っている」「業務に必要な集中力、注意力が回復している」があげられており、これを、リワークプログラムを通じて達成することが復職支援に求められます。

そのための手段として 模擬出勤 通勤訓練 試し出勤などがあり、模擬出勤では朝、会社に出勤するのと同じように、リワークプログラムに参加し、通常の時間帯で軽作業を行ったり、読書などを行うことで、昼間の眠気の有無や集中力・注意力の程度を確認し、業務遂行能力の評価をしていきます。また休職していた人にいきなり休職前と同じ質・量の仕事を期待するのには無理があるため、馴らし出勤などで徐々に完全復帰に近づけていくことも有効です。

いずれにしても、会社と労働者の間にあって、休職のためにできた両者の溝を埋めていくことがリワークには重要です。導入のタイミングなど個別対応でしかない難しい問題もありますが、それがリワークの醍醐味と思い、患者さんと、そしてスタッフ同士でのコミュニケーションを密にして、取り組んでくださいとお話になりました。

## 2011

冷房より暖房のほうが、1日の稼働時間が長いといわれます。そのため秋からしっかり節電に取り組んで、消費電力15%offを目指します。院内でも、蛍光灯の間引きや使わない電気はoff、暖房は22℃設定としております。ご理解のほどお願いいたします。



## 児童精神科領域研究会

今般、児童精神科領域で執務される方々向けに研究会を企画させていただきました。これは、日々接触させて戴いている中で(児童精神科領域での)医療情報の不足を指摘される方が多く、非力ではございますが多少ともこれにお応えしたいと願った次第でございます。できれば今後は、コメディカル領域でのテーマも取り上げ、「相互的で継続的な」「学びと情報交換の場」になればと考えております。

広報誌が発行される頃には1回目(11/4)が終わっているかと存じますが、今後継続的に実施していく予定です。

第2回 12月15日(木)14時~

講演 「発達障害以外の児童期特有の精神障害について」

澤田 将幸

(医学博士・精神保健指定医・日本児童青年精神医学会認定医)

「思春期の心の発達について」

作田 泰章(精神科特定医・コンサータ錠登録医)